

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかつた D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた

黄色塗り部分は
決算報告時に記載（配付申請時は記載不要）

様式1】

令和4年度 校長経営戦略支援予算【学校配付】配付申請書

(校園コード 681512)

※校園コードを必ず入力してください。

学校名 大宮小学校

取組に対する評価状況

学校関係者による評価実施済

1 配付額

988,000 円

→ 決算額

978,320 円

2 配付上限額

学校配当	学級数	特別支援学級数	学級配当
350,000	+ 15学級	+ 7学級	× 29,000

※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。

配付上限額

988,000

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

- ①本校アンケート調査で「学校は多様な体験活動を実施している」の項目について肯定的に回答する保護者の割合を、85%以上にする。
②小学校学力経年調査で「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を35%以上にする。
③令和4年度末の大都市学力経年調査及び本校アンケート調査で「学校の授業時間以外に、ふだん1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか」の質問に「全くしない・30分より少ない」と答える児童の割合を前年度よりも減少させる。(令和3年度は経年調査26.7%)
④学びに関連する様々な学習履歴や行動履歴などの教育ビッグデータを収集し、毎学期ごとに見直し、活用していく。

目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

- ①本校アンケート調査で「学校は多様な体験活動を実施している」の項目について肯定的に回答する保護者の割合は、95%で目標の85%以上を達成できた。
②小学校学力経年調査で「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合は、36.1%で目標の35%以上を達成できた。
③令和4年度末の大都市学力経年調査及び本校アンケート調査で「学校の授業時間以外に、ふだん1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか」の質問に「全くしない・30分より少ない」と答える児童の割合は、前年度26.7%に対して10%で目標を達成できた。
④学びに関連する様々な教育ビッグデータを分析することで、取り組みの振り返りや見直しにつなげることができた。

B

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

- ①企業の出前授業やオンライン授業、外部講師の招聘など、子どもの内面に根ざした道徳性の育成に努めるとともに、職業観、本校への誇り、地元への愛着等を育てる。
②全学年で計画的にICTや思考ツールなどを活用して協働学習や、主体的・対話的で深い学びの成立をめざした授業実践を行う。
③家庭学習・自主学習の定着を図るために、自主学習のモデルノートを提示し、全校児童で取り組む。
④全学年で、日常的にICTを活用した授業を実施し、個別最適な学びと協働的な学びの視点から学習活動の充実を目指す。
⑤大学やOB校長、教育センター等と連携して、校内研修・研究の実をあげるとともに、校内授業研究を通して教員の資質向上に努める。さらに、若手教員の指導力向上を目指して組織を生かした育成に取り組む。

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

- ①豊かな心の育成につながる実践や体験活動を各学年それぞれ年1回以上行う。
- ②研修等で学んだことを生かし、教員全員が主体的、対話的で深い学びの成立をめざした授業（公開授業含む）に取り組む。
- ③手本となるような自主学習ノートを月1回玄関や教室、廊下などに掲示したりコピーしたりして「家庭学習・自主学習の手引き」を作成する。
- ④自主学習を週1回以上行う児童の割合を70%以上にする。
- ⑤1人1台端末を活用した家庭学習を月1回実施する。
- ⑥校内研修（メンター研修含む）を年10回以上行う。

指標に対する達成状況（取組完了時）

達成

- ①茶の湯、生け花、和菓子、ボッチャ、ドローン等、各学年の学習内容や実態に合わせて豊かな体験活動を各学年最低1回ずつは実施することができた。
- ②学力向上、教材分析会、授業研究討議会、メンター研修等、様々な研修を実施してきた。そこで学んだことをいかし、それぞれの教員が授業改善へとつなげることができた。また、区内や全市に向けて研究発表もを行い、発信することができた。
- ③手本となる自主学習ノートを玄関や教室、廊下に掲示したり、学年だよりや学級通信で紹介したり、「自主学習グランプリ」を表彰したりすることで、自主学習への意欲付けにつなげることができた。
- ④自主学習を週1回以上行う児童の割合は、72%で目標の70%を達成することができた。
- ⑤月1回、1人1台端末を家に持ち帰る「デジタルデー」を設けることで、1人1台端末を活用した家庭学習を実施することができた。
- ⑥校内研修は、学力向上、教材分析会、授業研究討議会、メンター研修も含めて年40回実施できた。

B

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

令和3年度の小学校学力経年調査では、全ての学年で大阪市平均を上回った。標準化得点は、同一母集団において4・5・6年ともに前年度を上回った。ここ数年の結果を分析し、児童が苦手とする単元・領域について習熟度別少人数指導、個別指導、放課後補習指導等で重点的に取り組んだ成果といえる。しかし、どの教科でも学習したことを生かした学習、とりわけ得た情報をもとに、自分で考え表現する力は課題がある。ここ数年継続して取り組んできた成果と課題を踏まえ、さらに授業改善、効果的な指導の在り方について研究・研修を積み上げ、児童の能力や理解度に応じた適切な教材や支援を工夫し、習熟度別指導の物的・人的環境をきちんと整え、学習に取り組ませていく。また、ICT機器を積極的に活用し、協働的な学び、個別最適な学びへとつなげていく。

【裏面に続く】

7. 取組内容・予算内訳

(1) 取組内容【施策番号 施策名】	委員会使用欄	達成
<p>【基本的な方向2 豊かな心の育成】 ・多様な体験の実施</p>		B
<p>①予算内訳 7-1報償金 ・お話会 講師謝礼金 ④,300円×2時間= 8,600円 ・ブックトーク 講師謝礼金 ④,300円×6時間=25,800円 ・生け花 講師謝礼金 ④,300円×3時間=12,900円 ・茶の湯 講師謝礼金 ④,300円×3時間=12,900円 ・そろばん 講師謝礼金 ④,300円×2時間= 8,600円 合計 68,800円</p>		
<p>②決算内訳 7-1 茶の湯教室にかかる講師謝礼金（助手相当）④,300円×3時間=12,900円 7-1 生け花教室にかかる講師謝礼金（助手相当）④,300円×2時間+交通費540円=9,140円 7-1 そろばん教室にかかる講師謝礼金（助手相当）④,300円×3時間=12,900円 7-1 ブックトークにかかる講師謝礼金（助手相当）④,300円×6時間=25,800円 7-1 大阪府オーサービジット事業にかかる講師謝礼金 ②0,000円+交通費1,420円=21,420円 7-1 お話会にかかる講師謝礼金（助手相当）④,300円×2時間=8,600円 合計 90,760円</p>		
(2) 取組内容【施策番号 施策名】	委員会使用欄	達成
<p>【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・ICT機器を活用した授業の実施 ・学びを支える教育環境の整備</p>		B
<p>①予算内訳 17-2校用器具費 ・大型テレビ ①50,000円×1=150,000円 ・プロジェクター ③00,000円×1=300,000円 小計 450,000円</p>		
<p>10-6建物修繕料 ・掲示板 ①80,000円×1=180,000円 ・LED照明 ②38,000円×1=238,000円 小計 418,000円 合計 868,000円</p>		
<p>②決算内訳 17-2 プロジェクター ③85,000円×1台=385,000円 小計385,000円 10-6 背面掲示板取付 ①82,600円×1式=182,600円 LED照明器具取替 ②48,600円×1式=248,600円 LED照明器具取替 ③63,800×1式=63,800円 小計495,000円 合計880,000円</p>		
(3) 取組内容【施策番号 施策名】	委員会使用欄	達成
<p>【基本的な方向7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】 ・研修の実施</p>		B
<p>①予算内訳 7-1報償金 ・講師謝礼金 ⑦,100円×4時間+2,800円（交通費）=31,200円 ・講師謝礼金 ④,300円×4時間+2,800円（交通費）=20,000円 合計 51,200円</p>		
<p>②決算内訳 7-1 国語科研修会にかかる講師謝礼金（教授相当）⑦,100円×1時間+交通費460円=7,560円 合計 7,560円</p>		

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。
委員会使用欄は空欄としてください。

7. 取組内容・予算内訳

(1) 取組内容【施策番号 施策名】		委員会使用欄	達成
①予算内訳			
②決算内訳			
(2) 取組内容【施策番号 施策名】		委員会使用欄	達成
①予算内訳			
②決算内訳			
(3) 取組内容【施策番号 施策名】		委員会使用欄	達成
①予算内訳			
②決算内訳			

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。
委員会使用欄は空欄としてください。